

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	生産マネジメント論		
担当者(Instructors)	田村 豊	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

<b>■授業の目的と概要(Course purpose/outline)</b>			
生産管理論の骨格を理解するために、技術的発展の歴史とヨーロッパ、アメリカなどでの生産管理の展開過程を踏まえ、日本企業での生産管理の特徴を理解することを目的とします。現在進んでいるインダストリー4.0、日本企業の海外進出など、これからの日本企業の展開を想定し、これからの日本的生産管理の方法や課題を検討していきます。			

<b>■授業形態・授業の方法(Class form)</b>	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式

<b>■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション 講義の概要、説明	講義のねらい、受講上の注意点の説明	<input type="checkbox"/>
第2回	生産管理の基本原理	生産管理行動の管理上の特徴を経営学の他の分野との関係から概説し、生産管理行動の特質を解説します。	<input type="checkbox"/>
第3回	生産管理要素：道具、機械、設備体系の歴史	人間が道具から機械を開発し、設備体系を発展させた歴史を振り返ります。	<input type="checkbox"/>
第4回	アメリカンシステムと互換性	アメリカで生じた大量生産指向の生産システムの基本的特徴を解説します。	<input type="checkbox"/>
第5回	フォードシステム（1）	フォードシステムのしくみを解説します。	<input type="checkbox"/>
第6回	フォードシステム（2）	フォードシステムの発展が社会にどのような影響を与え、現在に至っているか解説します。	<input type="checkbox"/>
第7回	トヨタシステム（1）－TPSの概観－	トヨタ生産方式の特徴はどこにあるのか、解説します。	<input type="checkbox"/>
第8回	トヨタシステム（2）－TPSの基本管理－	自動化、平準化など、トヨタ生産システムを構成する要素を解説します。	<input type="checkbox"/>
第9回	トヨタ以降の生産方式の変化	トヨタの生産方法の以降、世界での新しい生産システムへの模索を概観します。	<input type="checkbox"/>
第10回	日本的生産管理と海外進出（1）	企業が海外へ進出する場合、どのような問題にぶつかるのか、解説します。	<input type="checkbox"/>
第11回	日本的生産管理と海外進出（2）	日系企業の現地化の事例を参考に現地化とは何かを解説します。	<input type="checkbox"/>
第12回	インダストリー4.0の到来と生産管理－IoT、Aiとどう向き合うか－（1）	IoT、AIなどの発展と生産管理の関係を解説します。	<input type="checkbox"/>
第13回	インダストリー4.0の到来と生産管理－IoT、Aiとどう向き合うか－（2）	GAFANAなどこれからのインターネットと生産マネジメントの関係を解説します。	<input type="checkbox"/>
第14回	生産管理の発展と社会システム	社会システムと生産マネジメントがどのように関係しているか検討します。	<input type="checkbox"/>
第15回	講義のまとめと補足	講義のまとめと補足を行います。	<input type="checkbox"/>

<b>■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)</b>	
講義で示されたキーワードについて事前に調べてみることを。また調べてみたことを、さらに自分で調べる（2時間程度）。また講義をふりかえりわからなかった事柄を自分で調べ次回の講義で確認していく（2時間程度）。	

**■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)**

毎回提出される感想シートを利用して、参加者の学習理解を踏まえ、それぞれの疑問を把握すると同時に学習の補足を行う。

**■授業の到達目標と評価基準(Course goals)**

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	IT化、インダストリー4.0、企業の海外進出など、これからの日本企業の展開を想定し、どのような課題が各自検討を行うことができる。

**■成績評価(Evaluation method)**

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

**授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)**

毎回の講義での感想シートの提出をもって出席とみなす。

**■テキスト(Textbooks)**

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

**■参考図書(references books)**

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	野中他編著[2020]『知識創造企業』(新装版)	
2	株式会社オズマピーアール著[2023]『「問い」を立てる力 世の中の最適解を共に考える 社会デザイン発想で共創する新しい「あたりまえ」』	
3	梶谷真司著[2023]『問うとはどういうことか～人間的に生きるための思考のレッスン』	
4		
5		